

1 / 31 (火) の発表

報道発表資料の配付日時 1月 31日 (火) 14時 00分

発表項目 (行事名)	令和4年度北海道青年農業者会議における受賞者について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和5年(2023年)1月26日(木)～27日(金)に開催された「令和4年度北海道青年農業者会議」において、留萌管内の代表3名が受賞されました。 なお、最優秀賞に輝いた村上一騎氏の発表は、3月2日(木)～3日(金)に東京都で開催予定の「第61回全国青年農業者会議」の北海道代表となります。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 受賞者</p> <p>(1) プロジェクト発表 園芸・特産作物部門 最優秀賞 氏名：村上 一騎 氏(羽幌町) 所属グループ：羽幌町・初山別村ピンクファイブ 課題名：「四季成りイチゴ高設栽培 3年間の取り組み」</p> <p>(2) プロジェクト発表 地域活動部門 優秀賞 氏名：秋山 直人 氏(初山別村) 所属グループ：留萌管内4Hクラブ連絡協議会 課題名：「熱いぞ！留萌！～連協消滅の危機からの復活劇～」</p> <p>(3) アグリメッセージ アピール賞 氏名：山崎 未鈴 氏(小平町) 所属グループ：小平町4Hクラブ 課題名：「自信を持って言えること」</p> <p>2 備考 後日、振興局長への表敬訪問を予定しています。日程が決定しましたら別途お知らせします。</p>		
参考	<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 別紙1 令和4年度北海道青年農業者会議開催要領 別紙2 課題の要旨 		

報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> 青年農業者等の取組を広く紹介したいので、積極的な取材・報道をお願いします。 取材の際は、新型コロナウイルス感染対策の徹底にご協力をお願いします。
他のクラブとの関係	<p>同時配付(場所)</p> <p>同時レク</p>

担当 (連絡先)	<p>留萌振興局産業振興部農務課(担当者：石丸)</p> <p>TEL：0164-42-8103</p> <p>内線：2702</p>
-------------	---

令和4年度北海道青年農業者会議開催要領

1 目的

この会議は、本道農業の担い手である若者たちが一堂に会し、日頃の実践活動で身につけた農業技術・経営改善の知識や農村生活・農村活性化などの情報交換を行い、相互の交流を深めることにより、たくましい農業経営者として必要な資質の向上を目指すとともに、青年農業者からのメッセージを広く社会に向けて発信することにより、本道の新しい農業及び農村づくりに資することを目的とする。

2 主催

北海道アグリネットワーク（北海道4Hクラブ連絡協議会）、公益財団法人北海道農業公社、北海道

3 後援（予定）

北海道教育委員会、北海道農業協同組合中央会、公益社団法人北海道農業改良普及協会、一般社団法人北海道農業会議、北海道指導農業士協会、北海道農業士協会

4 開催期日

令和5年1月26日（木）～1月27日（金）

5 開催場所

北海道自治労会館（札幌市北区北6条西7丁目）

6 参加者

青年農業者、農業研修生、農業関係機関及び団体の担い手育成関係者等

7 内容

【大会テーマ Re:unite～新時代の幕開け～】

(1) プロジェクト発表

青年農業者によるプロジェクト発表を、「園芸・特産作物」「土地利用型作物」「畜産経営」「地域活動」の4部門に分けて行う。

(2) アグリメッセージ

青年農業者がアグリメッセージの発表を行う。

(3) 表彰式

プロジェクト発表、アグリメッセージの受賞者等を表彰する。

(4) 北海道アグリネットワーク（北海道4Hクラブ連絡協議会）独自企画

- ・クイズ企画
- ・会場参加者と役員の意見交換

(5) 北海道アグリネットワーク（北海道4Hクラブ連絡協議会）活動報告会

8 助言者・審査員

(1) 主催者は、会議の充実と円滑な運営を図るため、プロジェクト発表の助言、審査を行うにふさわしい者に対し、助言者を依頼する。

(2) 主催者は、会議の充実と円滑な運営を図るため、アグリメッセージの審査を行うにふさわしい者に対し、審査員を依頼する。

(3) 助言者・審査員は、別途プロジェクト発表助言者要領及びアグリメッセージ審査要領に基づき、参加者の発表及び討議の方向づけについて助言、審査を行う。

9 顕彰

(1) プロジェクト発表

発表の優秀な者については、別に定めるところにより、北海道知事から賞状並びに（公社）北海道農業改良普及協会会長及び（公財）北海道農業公社理事長から記念品を贈呈する。

(2) アグリメッセージ

発表の優秀な者については、別に定めるところにより、北海道知事から賞状を贈呈する。なお、発表者全員に対し、北海道指導農業士協会会長より参加賞を贈呈する。

- 10 会議の運営
本会議の運営は、北海道アグリネットワーク（北海道4Hクラブ連絡協議会）役員が当てる。
- 11 広報
あらゆる手段により告知する。
- 12 会議事務局
北海道農政部生産振興局技術普及課（担当：佐藤）
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
Tel 代表 011-231-4111（内線27-842）
直通 011-204-5385
メールアドレス satou.ryouichi@pref.hokkaido.lg.jp
- 13 その他
その他、必要な事項については、別途実施細目等により定める。

ムラカミ イツキ

	四季成りイチゴ高設栽培 3年間の取り組み	村上 一騎	羽幌町・初山別村 ピンクファイブ(個)
<p>(概要)</p> <p>我が家では水稻を主体とした経営を行っていますが、近年の資材費高騰や米価の低迷などから水稻農家の情勢は厳しくなっています。そのため経営のリスク分散の観点や自分の力で新しいことに一から挑戦したいという思いから、2年前より新規作目として四季成りイチゴ高設栽培に取り組んできました。</p> <p>今年度は面積250㎡、1,600株と前年の4倍に規模拡大を行い、新たに経営に導入しました。導入にあたっては入念な試算を行い、栽培マニュアルの作成による栽培技術の習得や高設ベンチ・自動かん水システムの自作による導入コストの削減、商品ロゴ作成や営業活動による販売経路確保に取り組みました。これら3カ年の取り組みについて報告します。</p>			

アキヤマ ナオト

	熱いぞ！留萌！ ～連協消滅の危機からの復活劇～	秋山 直人	留萌管内4Hクラブ 連絡協議会(共)
<p>(概要)</p> <p>留萌管内4Hクラブ連絡協議会は平成29年、会員減少による連協消滅の危機に陥りました。それ以降、道連からの退会や活動の行き詰まり等に立ち向かい、現在は3クラブ30名のクラブ員が所属する組織になりました。</p> <p>今回は、連協復活に向けて私たちが取り組んだ、管内青年農業者会議の改革と、管内唯一の農業高校である遠別農業高校との連携についてご紹介いたします。</p>			

ヤマザキ ミズズ

	自信を持って言えること	山崎 未鈴	27歳	小平町	経営形態 水稻、畑作	従事年数 7年
<p>(概要)</p> <p>小平町の農家に生まれ跡継ぎとして親元就農し、従事して7年。4Hや農協青年部などの青年活動にも参加してきた。</p> <p>しかしどの場面においても稀有な目で見られてきて、それが嫌だった。役職を持つようになりより一層女性としての立場を考えてしまっていた。</p> <p>プロジェクトを立ち上げ活動するようになってから心境に変化が……。</p>						